

はじめての遠足

1年生 昭和記念公園

5月12日(月)、週間予報では雨が心配されましたが、子どもたちの祈りが通じて天候に恵まれました。朝、教室を出た後、バスに乗り込む前からウキウキ、ワクワクの子どもたち。出発式では校長先生の話をよく聞き、「行ってきます！」と声を揃えて挨拶し、張り切って出かけました。バスの中では1号車も、2号車も友達と楽しく話をしながら、安全に公園に到着することができました。

公園に着き、園内に入ると「広ーい！」と歓声が上がりました。愛らしいポピーが咲き、木漏れ日が爽やかな林道を進んでいきました。けれど、しばらく進むうち次第に疲れてきたのか、「のどが渴いた〜」「まだかな？」と息を切らして、必死に歩く子どもたちの姿がありました。

まず、最初はドラゴンの砂山で笑顔いっぱい記念撮影をしました。そして、いよいよ活動開始！初めに訪れたのは、〈雲の海〉です。子どもたちは、靴をぬぐと一目散に、大きな大きな波のようなトランポリンに駆け上がり、「きゃっ、きゃっ。」と歓声をあげながら跳んだり跳ねたり大忙しでした。中には、全身を使ってころころと転がっては、「気持ちいい〜」と、喜びいっぱいで顔を紅潮させる子もいました。



次に、訪れたのは〈虹のハンモック〉〈とりで〉〈滑り台〉言う三つの遊び場です。クラス毎、順に遊び場を回りました。生活団の友達と一緒に行動するという約束をしっかりと守って、元気に遊ぶことができました。〈虹のハンモック〉は、色とりどりの大きなハンモックが、青空に向かって張りめぐらされています。ここでも、靴を脱いで、うまくバランスをとりながら、思い思いに楽しんでいました。思わずよろけた友達に、さっと手を差し出す優しい姿も見られ、あたたかな気持ちになりました。また〈とりで〉では、アスレチックのようなもので、ゆらゆら揺れる橋を渡り、ターザンのように滑車で移動するなど、様々な遊具に興奮しきりでした。そして、〈滑り台〉では、もぐらの山より急な斜面や階段を駆け上がり、長い長い傾斜を友達と連なって楽しそうに滑る、微笑ましい姿が見られました。

最後は、待ちに待ったお弁当です。めいっぱい遊んだので、お腹もぺこぺこ。おいしいお弁当に、お腹も気持ちも大満足の子もたちでした。まだ、遊びたいという気持ちもあったようですが、帰校時刻となりました。学校に着くとちょっぴり疲れた顔も見せましたが、どの子も満足そうな笑顔で解散式となりました。初めての遠足で、たくさん思い出ができた一日になりました。

